～環境に優しく、災害に強いLPガス～　令和7年10月発行

協会だより

第531号

一般社団法人 富山県エルピーガス協会
TEL:076-441-6993
FAX:076-441-6996
〒930-0004 富山市桜橋通り6-11(フコク生命第2ビル4F)
ホームページ 富山県エルピーガス協会 検索

第2回理事会が開催されました

7月29日㈫午後2時から高志会館において、理事24名の出席により理事会が開催されました。

東狐会長の挨拶の後、専門委員会委員の承認について、事務局長より、委員については、4月理事会で承認されたが、「総務委員会」は会費改正等に係る委員会であり、委員は各支部長の構成だったが、いつの間にか入れ替わっており、「総務委員会」と「保安委員会」の1名ずつを入れ替えることになったとの説明があり、承認されました。

引き続き、報告事項について事務局から説明がありました。その概要は次のとおりです。

・第一四半期事業報告について、専務理事が説明しました。その中で、特に、5月に開催された自民党富山県議会議員会政務調査会での「国及び県に対する学校体育館や行政施設へのGHP導入の推進」要望書について、説明があった。

・「県総合防災訓練」、「高圧ガス移動防災訓練」、「中核充填所災害時総合稼働訓練」、「充填所における各種伝達訓練」について、それぞれ概要の説明があった。

・「保安講習会」「経営者・管理者講習会」について、説明があり、出席を促した。

・富山県LPガス災害対策要綱に基づく「災害に備えた準備及び情報整備」資料作成として、「会員別災害対応機材の確認」、「LPガス災害救援設備士の登録」、「災害時緊急通行車両の確認」を9月11日までに報告を求めた。また、緊急通行車両は、事前登録制から5年間の確認制に変更になっていることの説明があった。

・富山県LPガス料金負担軽減支援事業について、第4回事業の概要説明があり、実施について協力をお願いした。

・中核充填所等委員会では、容器の共通バーコードの必要性が重視されており、新容器購入の際は、メーカーで貼付いただけるようであり、相談願いたいとの説明があった。

・このほか、「販売事業者が作成すべき帳簿類」・「保安機関が作成すべき帳簿類」については、不備が目立つことから注意喚起、LP賠償責任保険のWEB申し込み、10月理事会や高圧ガス国家試験など今後の日程について、説明があった。

学校体育館へのGHP導入について、活発な要望活動を実施しました

当協会は、自由民主党富山県議会議員会の友好団体として、従来から政務調査会を通じて要望活動を実施していますが、政務調査会では企画財務部会の所管となっています。一方、学校体育館については、教育部会の所管となっています。また、企画財務部会以外にも、各県議には、地元市町村でのGHP導入に積極的に活動いただきたいと考え、このたび、企画財務部会のご配慮で、同部会の主催で、自民党に属する全県議を対象とした「勉強会」を開催していただきました。

9月12日㈮県議会議事堂大会議室で、自由民主党富山県議会議員会に属する35人の県議が参加し、「令和6年能登半島地震災害対応検証を踏まえた地域防災力の向上について」をテーマに、「勉強会」が開催され、当協会からは、東狐会長が出席しました。（小城専務同行）

最初に、県の危機管理局防災課長から「地域防災力向上の取組み」について説明があり、その中で、避難所の空調の必要性が報告されました。それを受けて、東狐会長から、「避難所となる学校体育館へのGHP導入」について、仕組みやメリット、国のエネルギー計画での位置づけ、財政支援制度など、総合的かつ詳しく説明され、各議員に、熱心に聞いていただきました。出席議員からは、「学校体育館の空調設備は、喫緊の課題であり、実現に努力する。」との発言がありました。

また、9月30日㈫には、政務調査会5部会が開催され、企画財務部会に東狐会長が出席し、国・県の来年度予算に向けて要望事項を説明しました。同部会では八嶋部会長をはじめ、6名の県議が出席し、熱心に説明を聞いていただきました。

東狐会長からは、学校体育館へのGHP導入促進や県の行政庁舎についてLPガス災害バルクなど災害に強いエネルギー源とすることを要望しました。

経営者・管理者講演会が開催されました

令和7年9月3日、消費者の保安の確保を図るためには、事業者等の意識向上も重要であることから、事業者の経営者・管理者を対象に、経営の基本方針としての法令順守やガス機器による事故防止対策などの課題について経営者・管理者講演会を開催いたしました。

今年度の講演は東狐会長、野田安宏富山県危機管理局消防課長（田中主幹代読）の挨拶の後、はじめに、一般社団法人全国LPガス協会保安業務グループシニアマネージャー岩田多香子氏から「自然災害に強いLPガスのご提案」と題して、学校体育館や医療機関、介護福祉施設等における災対バルクやGHPの導入事例や、分散型の特性を活かしたLPガスが災害時に避難所や仮設住宅において実際に活躍した事例をご紹介いただき、補助金を活用したLPガス災害対応バルクと空調設備の導入についてのご説明をいただきました。また、災害時に避難所となりうる小中学校の体育館へのGHP導入は、小中学生の熱中症対策の観点からも非常に有効なことから、導入のアプローチ法についても、国の支援策、全国LPガス協会の活動を含めお話しいただきました。

休憩後にはパナソニック株式会社から、「FF式石油暖房機当該対象品回収活動の内容と回収協力のお願いについて」、ご説明をいただきました。

次の講演は、「高効率給湯機の推進について」と題し、一般社団法人日本ガス石油機器工業会ガス機器需要開発委員会委員長の多田浩之氏に、高効率給湯機を普及させる意義と背景、その取り組みについて講演いただきました。お湯は給湯・暖房に使われ、日常生活では第4のインフラとも考えられること。地球温暖化対策と同時に災害時等のレジリエンスの視点も合わせ、2030年低炭素化に向けた国の大きな支援である「住宅省エネ2025キャンペーン」を余すことなく活用することで、大きな価値がある分散型エネルギーであるLPガスの高効率給湯機が標準となり、消費者の生活向上に繋がることへの期待をお話しいただきました。このように今年度は保安関連の他に需要開発活動にも重要な内容とさせていただきました。

LPガス保安講習会が開催されました

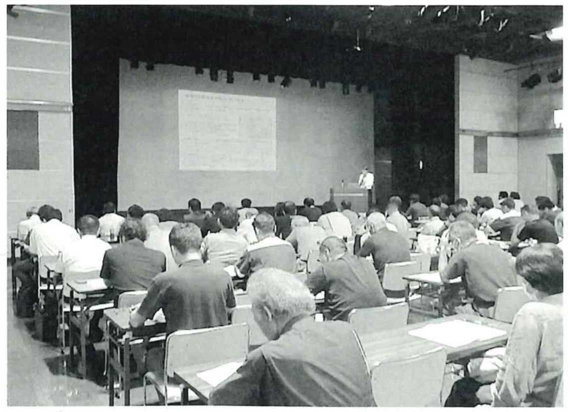
8月21日～29日にかけて、県内4会場で、224事業所319人の参加を得て、LPガス保安講習会を開催しました。

本年度も富山県の後援を受け、消防課ガス火薬保安係　村澤係長（25日）田中技師（21日・27日・29日）から、LPガスの現状として事故発生状況、法令改正・保安行政等の動向、立入検査結果による指摘事項、販売事業報告書等の記載方法、県への電子申請可能な液石法の手続き等について説明を受けました。

次に、一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会から久郷裕氏（21日）、石黒正樹氏（25日）、鈴木雅喜氏（27日）、永井陽介氏（29日）を講師としてお招きし、「供給機器の期限管理について」説明を受けました。供給機器の期限は法律上、認定販売事業者以外の事業者には制定されていませんが、長期の使用で外観からだけでは判断できない内部の損傷や錆によって、大きなガス事故となりうる可能性があります。確実な期限管理と適切な維持管理の徹底を再認識する良い機会となりました。

また、パナソニック株式会社より「FF式石油暖房機の回収へのご協力のお願いについて」のお知らせがありました。今でも対象製品の全数把握には至っていないことから、引き続き探索活動への協力依頼がありました。

講習会に併せ、新コスモス電機㈱様、理研計器㈱様のご厚意により、LPG用ガス検知器、CO検知器の無料機器診断も実施しました。



月日	会　場	出席事業所数	出席者数（名）
8月21日（木）	富山県高岡文化ホール	82	120
8月25日（月）	ア・ミューホール	41	56
8月27日（水）	新川文化ホール	45	59
8月29日（金）	高志会館	56	84
合　計		224	319

ラジオ防災特番「防災スペシャル2025」で放送しました

毎年、防災の日に、県内民放ラジオ7局が、協同で防災特番を生放送しています。当協会も、この企画に参加しており、生放送番組「防災スペシャル2025」の中に、小城専務の事前収録インタビューが、放送されました。

インタビューの中では、過去の大災害を教訓に、ガス器具の安全性の向上が図られ、能登半島地震では、LPガスを起因とする火災が発生しなかったことや、4年に1回の法定点検活動を紹介するとともに、災害に強いLPガスの特性や、避難所となる学校体育館へのGHP空調を解説しました。また、8月から9月にかけて、ラジオ・スポットで、ガス点検を装った不審な訪問者や電話への注意喚起もしています。

北陸圏域道路啓開計画策定協議会に出席しました

国土交通省では、大規模災害時における物資輸送路を迅速に開通させることを目的に、改正された道路法に基づき、「道路啓開計画」を策定することになりました。北陸圏域においても、能登半島地震の際に、避難所を支えるLPガスの輸送が、課題としてあきらかになりました。

こうした経緯で、道路啓開計画策定に、ガス事業者の意見を反映させることとなり、8月29日㈮に、新潟の北陸地方整備局をキーに、富山、石川の河川国道事務所を繋いで開催された計画策定協議会に、3県のガス協会が参画することになり、富山会場に小城専務が出席しました。

当日は、第1回ということで、当局による説明があり、今後の予定が説明されました。

LPガスの輸送に関しては、大規模災害時だけでなく、豪雪時においても、支障が出ていることから、当協会としても、県内の充填所への円滑な輸送ルートの確保を、提言していきたいと考えています。

ふれあいサポート運動の報道公開

当協会では、平成17年度から「ふれあいサポート運動」を展開しています。今年度は、7月24日㈭10時から、㈱小竹電機の協力で、入善町において同運動の報道公開が行われました。当日は入善町のMさん宅では、カレンダーに「ふれあいサポート」とご記入いただき、きれいに掃除がいきとどいたお台所でお迎えいただき、私たちの訪問を楽しみにしておられることが実感できました。「この活動は意義深いなぁ。」としみじみ思いました。取材に訪れた記者もみんな笑顔の時間を共有しました。

協会では、今年度も6，000軒の訪問を目指しています。会員の皆様のご協力をお願いします。

ふれあいサポート運動の感想をお寄せいただきました

入善町のMさん

私は、今年で84歳になりますが、ご近所でも、お年寄りだけの世帯が多くなっています。一人で暮らしていると、ガスだけでなくて、蛍光灯の交換など、色々なことに対応していただける、「地元のガス屋さん」が、とても心強く、ありがたく感謝しています。

小竹電機さんとは、私が、隣の村から嫁いできた時からの「お付き合いで」先代の時からも含めて、ずいぶん長い間、お世話になっています。今日も、カレンダーに書き込んで、来られるのを楽しみにしていました。また、丁寧に点検いただいて、安心して調理を楽しむことができます。

うちは、黒部川の地下水が自噴していて、この美味しい水で、「米どころ」入善のお米を、ガスで炊いたご飯は、とびきり美味しいです。また、海が近いもので、魚も美味しいので、焼き魚を楽しんでいます。美味しい食事は、ガスですね。

富山県総合防災訓練へ参加しました

今年の総合防災訓練は、9月28日㈰南砺市城南パーク・城南屋内グラウンドをメイン会場に、南砺市、砺波市のほか、富山空港、伏木富山港及び周辺海域などで行われました。

能登半島地震以来、県民の防災意識が高まり、「いざというときに頼りになるLPガス」への関心も、徐々に浸透してきています。

当協会からも、南砺支部が「LPガス安全機器展示」で参加し、ガス発電機や安全に関する様々な器具の働きなどを紹介し、来場者に「災害に強いLPガス」の特徴を紹介しました。

出前エルピーガス協会

9月13日㈯に高岡市立国吉公民館ホールで国吉地域女性の会主催の「防災学習会」が開催され、当協会より講師を派遣しました。

地域の女性会員25名の参加者に、川東事務局長から富山県エルピーガス協会と会員が行っている災害対策とガス機器の安全装置や供給機器の災害対策について、そして災害に強いLPガスのアピールをいたしました。主な講演内容はSiセンサーコンロをはじめとしたガス機器の安全性、供給機器であるガスメーターの安全装置や遮断からの復帰方法、そして地震対策だけでなく、最近の大雨による洪水対策として、浸水想定区域で法令として実施している容器流出防止対策のベルトやチェーンの2重掛けやプロテクターを通す対策やガス放出防止型高圧ホース等の災害対策状況を説明いたしました。また、災害に備えた準備として「中核充填所」の設備内容の説明などを含め、参加のみなさまには自立分散型エネルギーで平常時にも非常時にも役立つ、災害に強いLPガスをアピール出来たと思っております。

今後も消費者団体等の会議や研修も含め積極的に職員を派遣し、LPガスの特色や保安啓発を行います。

Gラインからのお知らせ

食育調理実習を開催いたしました

昨年度まで、次世代を担う子供たちに最新のガスコンロの安心・安全を知っていただくために、富山県内の小中学校86校に559台のSiセンサーコンロを寄贈致しました。今年度からはこのガスコンロを使用し、安心安全はもちろん、楽しさを含めた食育事業を始めます。今年度最初の活動として富山市立古沢小学校、同池多小学校の5年生を対象とした学校の授業として、9月12日㈮に古沢小学校調理実習室で実施しました。

この食育調理実習はキッズ食育トレーナーの清水美貴子氏を講師として迎え、「ガスコンロで土鍋を使って、ほかほかご飯を炊こう」「富山湾の魚（いわし）ですりみ定食を作ろう」の2テーマの料理教室としました。東狐会長の挨拶から始まり、ガスに関連した食育クイズも実施し、16名の児童は楽しく調理を実施出来ました。実施後のアンケートでも児童から「ガスコンロの使い方が学べた。楽しく料理できた。」や「土鍋で炊いたご飯がおいしかった。家でもやってみたい。」などの声が聞かれました。

今年度中には今後2校で実施する予定であり、ガスの良さや安心安全を子供たちに伝えたいと考えています。

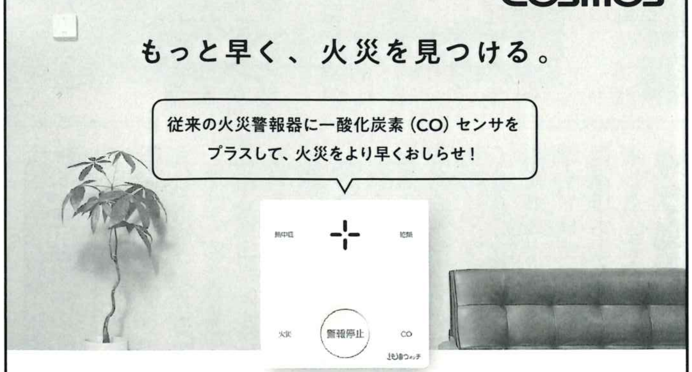
『ガスラブキャンペーン』開催中です

Gラインとやまでは今年度もガス機器購入支援のため「Gラインとやまガスラブキャンペーン」を開催中です。

景品はより多くの購入者へ感謝を還元できるように「JCBギフトカード」3，000円分を応募いただいた方から抽選で333名にプレゼントいたします。加盟店の皆様へ配布しました周知チラシをご利用いただき、年末までの機器販売にぜひご活用いただければと思います。応募券での応募のほか、Gラインとやまが運営するECサイト「Gラインとやまオンラインショップ」からの注文にも対応した申込みが可能です。ご利用願います。なお、毎年「加盟店名」や記載事項の未記入や間違いがございます。応募が無効になることもありますので、ご記入を確認されご応募願います。

～～　暮らし豊かに、大切に　～～
ＬＰガス卸・小売販売　灯油販売
住宅設備・冷暖房空調機器販売及び設計・施工
上下水道工事　住宅リフォーム　福祉用具販売
中越産業株式会社
CHUSAN

（本　社）　南砺市福野775　TEL 0763-22-4511　FAX 0763-22-6925
（充填工場）　南砺市川除新110　TEL 0763-22-3983　FAX 0763-22-6911

COSMOS
もっと早く、火災を見つける。
従来の火災警報器に一酸化炭素（CO）センサをプラスして、火災をより早くおしらせ！


PLUSCO プラシオ
CO反応式　一酸化炭素検知機能付き　火災警報器　SC-745　SC-345
●住宅用防災警報器（特例基準:CO反応式）検定合格品
●一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品　●日本製
新コスモス電機株式会社　詳細はこちら
www.new-cosmos.co.jp

エネルギーの未来は、
人と街の未来だと思う
あなたの暮らしをささえるエネルギーを
ずっと、届けていきたい

LIVIC　株式会社リビック富山
富山営業所　富山市高木2000番地　TEL 076-436-6100
高岡営業所　高岡市下伏間江508-5　TEL 0766-22-2978
東部営業所　滑川市中川原73　TEL 076-475-0238
http://www.livic.jp/